

アスパラガス「ふくきたる」の トンネル栽培による作期前進効果

福島県農業総合センター 浜地域研究所

1 部門名

野菜－アスパラガス－作型、栽培型

2 担当者

斎藤幸平・三田村敏正・渡邊仁司

3 要旨

ふくきたるでは3月上旬からのトンネル被覆により、4月上旬から茎重が重く、太い若茎の収穫が可能である。

- (1) ふくきたるでは3月上旬からのトンネル被覆により、無処理区に比べ春の収穫開始を11日、立茎開始を15日前進することができ、夏秋取りの収穫期間が長くなったことにより収量は32kg/a多くなった。(表1、表2)。
- (2) ふくきたるは春どりの平均茎重がウェルカムに比べて重く、トンネル被覆により4月上旬から茎重が重く、太い若茎の収穫が可能であった(表2)。ふくきたるは、萌芽、収穫開始時期が早く、ウェルカムに比べ8日早く立茎を開始することができた(表1)。
- (3) 収穫開始時期のトンネル内気温が氷点下にならないように、無理な前進化は避ける。

表1 3年株のトンネル被覆開始時期と萌芽日、春収穫日 (2014年)

区名	品種・系統	トンネル被覆開始時期	萌芽日	春収穫開始日	春収穫終了日	夏秋収穫開始日	夏秋収穫終了日
トンネル	ふくきたる	3/4	3/31	4/1	4/29	6/20	9/30
	ウェルカム		4/5	4/7	5/7	6/22	9/30
無処理	ふくきたる	-	4/10	4/11	5/14	7/3	9/30
	ウェルカム		4/14	4/13	5/26	7/8	9/19

注1)萌芽日は供試した30%の株で確認された日

注2)春収穫量は40kg/aとした

注3)春収穫終了後、立茎を開始 トンネル区では被覆終了

表2 3年株におけるトンネル被覆と規格内収量との関係 (2014年)

区名	品種・系統	春どり(3/31～5/26)			夏秋どり(6/17～9/30)			合計		
		本数	重量	平均 茎重	本数	重量	平均 茎重	本数	重量	平均 茎重
		(本/a)	(kg/a)	(g)	(本/a)	(kg/a)	(g)	(本/a)	(kg/a)	(g)
トンネル	ふくきたる	1,472	40	27.2	8,287	130	15.7	9,759	170	17.4
	ウェルカム	1,572	40	25.4	6,499	106	16.3	8,071	146	18.1
無処理	ふくきたる	1,525	40	26.2	6,389	98	15.3	7,914	138	17.4
	ウェルカム	1,917	40	20.9	5,505	82	15.0	7,422	122	16.5

注1)茎重7g以上の収量

注2)春収穫量は40kg/aとした

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成24年度～26年度
- (2) 研究課題名 県オリジナルアスパラガスの生産性向上技術
- (3) 参考となる成果の区分(指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成22年度農業総合センター実用化技術情報「アスパラガスのトンネル栽培による作期前進と茎枯病軽減」